

第1学年 学級活動指導案

日 時 平成18年10月13日(金) 5校時
児 童 男14名 女11名 計25名
指導者 小田島公枝

1 題材名 「げんき集会をしよう」

2 題材について

(1) 題材設定の理由

入学当初、1年生は、運動の経験が少なく、未経験の運動には興味を示さない傾向が見られた。しかし、徐々に集団生活に慣れ、1学期は、なかよくみんなで遊んだり運動したりすることにより、その楽しさを味わってきている。

2学期は学級目標を「なかよく、げんきに」と設定し、友だちと励まし合いながら、元気に体作りをすることに重点を置いて指導してきた。具体的な取り組みを「げんき大作戦」として、水泳、給食、なわとび等においてめあてを決めて取り組んできたことにより、徐々に体力が付き、運動を進んでやってみようとする児童が増えてきている。そこで、これまでの2学期前半の自分たちで行ってきた「げんき大作戦」への前向きな取り組みを認め合い、2学期後半に向けた活動への意欲を持たせるために、「げんき集会」を設定し、その集会へ向けた活動を展開しようと考えた。今までの体作りの成果を確かめることにより、さらに進んで体作りに取り組もうとする態度を育てていきたいと考え、この題材を設定した。

(2) 児童について

1学期は教師が主導して話合いを進め、自分の考えを持つこと、発表することに力を入れてきた。月目標の取り組みやあいさつ運動、学期末のお楽しみ会等、教師の助けを借りながらもこれらの活動を喜んで行い、友だちと協力して準備し、実践する経験を積んできた。その中で、励まし合ったり、認め合ったりする姿が見られるようになってきている。

2学期になって、本校の学習過程に沿った話合い活動を展開し、司会グループは班ごとに輪番制で担当している。教師と一緒に話合いの準備や進め方を学習しているが、基本的な話合いの仕方が身に付いているとは言えないのが現状である。また、話合いの際、多くの児童が発表しようとしているが、中には、恥ずかしくて、発表できない児童もいる。友だちと似たような考えでもいいから発表するように指導してきた。

(3) 指導にあたって

本題材では、2学期前半の体作りの取り組みのまとめとして、「げんき集会」を位置付けている。「げんき大作戦」では、みんなで体作りするために、係を見直して新しい係を作った。各々の活動が児童の呼びかけで行われたり、グループごとのめあてにしたりして取り組みやすいようにしてきた。また、児童が意欲を継続できるように努力の様子を掲示し、励ましてきた。「げんき集会」では、1学期のお楽しみ会で経験している「一緒に楽しめるもの」だけでなく、「今までの自分たちの取り組みを認めあえるもの」にも目を向けさせたい。そこで、自分たちで決め実践してきた取り組みを十分振り返らせ、話合いカードに集会することを考え、書かせていきたい。また、司会グループへは、話合いカードを見ながら大まかに意見を整理し、どんな手順で話合いを進めるか、各段階に沿って進行に使う言葉を理解させておく。

本時は、「集会で何をするか」という話合いなので、話合いカードを活用させ、十分意見を発表させたいと考える。「げんき集会」の内容を選ぶ条件を「今までの自分たちの取り組みを認めあえるもの」「一緒に楽しめるもの」とし、この2つを意識させながら、話合いを展開させていきたい。出し合いでは2つの条件がより明確になるように板書し、「認めあえるもの」の方から順に比べ合い、学び合い、まとめ合いをしていきたい。まとめ合いでは、賛成意見が多いものから決めていくようにし、整理された話合いができるようにしていきたい。

「げんき集会」の活動では、一人一人の役割を決めて準備し、活動させることにより、自分たちの力でこれまで頑張ってきたという満足感を持たせ、次への取り組みにつなげるように励ましていきたい。

3 指導目標

2学期前半の体作りの取り組みを振り返りながら、「げんき集会」を計画し活動することを通して、今まで取り組んできた体作りの成果を確認するとともに、一緒に体作りに取り組む喜びや楽しさを味わわせ、今後の活動に進んで取り組もうとする態度を養う。

4 指導計画

		活動内容	期日	参加児童	指導上の留意点
自 事 ら 前 考 活 え 動	事 前 考 活 え 動	1 みんなで行ってきた取り組み(水泳、給食、清潔、鬼ごっこ、なわとび)を振り返る	9月28日 帰りの会	全 員	・みんなであてを決め、実践してきたことを想起させ、「集会をしてみたい」という意欲付けを図る。
		2 問題の発見 ・みんなでどんなことができそうか、一緒に考える。 ・ネーミングを決める。	9月29日 帰りの会	全 員	・「げんき大作戦」のまとめであることを意識させ、どんな集会にするか考えを引き出していく。
		3 議題の選定 ・議題と提案理由を吟味する。	10月2日 休み時間	学級執行部	・教師と共に検討し、提案の仕方を指導する。
		4 議題の決定 ・執行部が議題を説明する。 ・内容を考えておくよう呼びかける。	10月3日 朝の会	全 員	・議題、提案理由を共通理解させ、「今までの自分たちの取り組みを認めあえるもの」「一緒に楽しめるもの」の2つの条件を十分理解させる。
		5 話し合いカードの記入 ・2つの条件に沿って考えを出し合い、その中から自分の考えを持つ。	10月4日 朝の会	全 員	・2つの条件に沿って、各々考えを書かせる。記入の際、自分の考えに理由付けできるようにさせる。
		6 話し合いの計画	10月5日 ～12日 放課後	計画委員会	・話し合いカードをもとに、話し合いの各段階でどんな意見が出るか整理し、進め方を検討する。
伝 え 合 い	合 い 活 動	7 話し合い 第6回なかよし学級会 「げんき集会ですることを決めよう。」	10月13日 5校時 学活 (本時)	全 員	・話し合いカードを活用し、げんき集会の内容を最後まではっきり発表すること、整理された話し合いが進行できることを重点に、適宜支援する。
		事 後 高 め 合 う	後 活 動	8 事後活動 ・グループ分け ・役割分担 ・ルールの確認 ・実践	10月16日～23日 休み時間 10月24日 学活
9 ふりかえり	10月24日 帰りの会			全 員	・集会がねらいに沿っていたか、責任を持って自分の役割ができたか、友だちの頑張った点などを振り返らせる。

5 評価規準

【関心・意欲・態度】

げんき集会の内容を積極的に考えて発表したり、進んで活動に参加しようとしたりする。

【思考・判断】

友だちの考えと同じかどうか比べ、自分の考えをしっかりと持つことができる。

【技能・表現】

友だちの考えをよく聞き、自分の考えに理由を付けて話すことができる。

【知識・理解】

話し合いの準備の仕方、進め方、集会活動の進め方が分かる。

6 本時の指導

(1) ねらい

「なかよく、げんきに」のめあてに向かって、これまでがんばってきたことを認めあえる集会になるように、友だちの考えをよく聞いたり、自分の考えを発表したりしながら、内容を定めることができる。

(2) 展開

	活動の流れ	児童の活動	支援(・)と評価()
つかむ	1はじめの言葉 2司会グループの紹介 3議題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">げんきしゅうかいであることをきめよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会長が開会する。 ・司会グループが自己紹介する ・議長が議題を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議題と提案理由は、予め掲示しておく、全員で確認できているようにする。
5分	4提案理由の確認 5話し合うことの確認 6話し合いのめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">げんきしゅうかいであることをかんがえ、すすんではっぴょうしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会長が理由を述べる。 げんき大作戦で、水泳や給食、はんかち、ちり紙、おにごっこ、縄跳びをみんなで頑張ってきた。げんき集会をして、今までの頑張りを思い出し、もっとげんきになりたいから。 ・議長が知らせる。 「げんき集会ですること」 ・がんばりがわかるもの ・いっしょにたのしめるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの条件を捉えさせ、分かるように掲示する。めあては教師が提示する。 元気に返事をしたり、集中して話を聞いたりして、話し合いへの意欲を高めているか。【行動観察】
話し合う	7話し合い ・出し合い ・比べ合い	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを活用しながら、自分の意見を発表する。 (例)・なわとびのはっぴょう <ul style="list-style-type: none"> ・しょうじょうをあげる ・がんばったひとのスピーチ ・おにごっこ ・りれえ ・ころがしドッジボール など ・「がんばりがわかるもの」について、出された意見に対して、賛成意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで話し合いに参加できるように、話し合いカードを活用させる。一人一人の考えを把握しておく、必要に応じて議長の支援をする。 ・出された意見を、2つの条件に分けて、板書できるようにする。 ・自分の意見に理由を付けて発表させる。「楽しめるもの」と混乱しないように、「頑張りがわかるもの」に

30分	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合い ・まとめ合い ・決まったことの確認 	<p>(例)・縄跳びに賛成。頑張った人に跳んで発表してもらいたいから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞状に賛成。頑張りを褒めたいから。 ・発表に賛成。スピーチで発表してほしいから。 <p>・「一緒に楽しめるもの」について、出された意見に賛成意見を発表する。</p> <p>(例)・おにごっこに賛成。みんなでやればもっと楽しいから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りれえに賛成。応援してがんばれるから。 など <ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を比べ、自分の考えを修正する。 <p>(例)・縄跳びに変更。縄跳びをがんばった人が多いので、ぜひやってもらいたいから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された意見を収束させる。賛成意見の多いものから決める。 ・ノート書記が決まったことを知らせる。 	<p>ついで意見の発表であることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「頑張りがわかるもの」の比べ合い、学び合い、まとめ合いをした後、「一緒に楽しめるもの」について、比べ合い、学び合い、まとめ合いをする。 ・各々、学び合いに入る前、出された意見を教師が一つずつ整理し紹介することにより、それぞれのよさを認める。 ・考えが変わった児童は理由付けしながら発表できるようにする。 <p>友だちの考えを聞いたり、自分の考えを進んで発表したりできたか。</p> <p>【発表・行動観察】</p>
ふりかえり 10分	<p>8 ふりかえり</p> <p>9 感想発表</p> <p>10 先生から</p> <p>11 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードにふりかえりを記入する。 ・話し合いの感想を発表する。 ・先生の話聞く。 ・学級副会長が閉会する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いでよかったところを評価し、次の活動への意欲付けをする。 話し合いを振り返り、自分や友だちの頑張りに目を向けた感想を持つことができたか。 <p>【話し合いカード・発表】</p>

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>げんきしゅうかいですることをきめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばりがわかるもの ・いっしょにたのしめるもの </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>はなしあひのめあて</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>げんきしゅうかいですることをかんがえ、すすんで はっぴょうしよう</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>はなしあひのめあて</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ていあんりゆう</p> </div>
--	---	--	---	---